

-古河公方公園- 公園だより



ヒガンバナ

2022年9月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■静かに忍び寄る外来生物『ツヤハダゴマダラカミキリ』とは!?

ツヤハダゴマダラカミキリとは?

■みなさん、外来生物というワードをご存じでしょうか。元から日本にいた生物ではなく、人間の手で意図的もしくは無意識に外国から持ち込まれた生物のことです。植物から昆虫、動物までその数ははかり知れません。そんな中、古河公方公園にも外来生物であるツヤハダゴマダラカミキリが侵入してきました。外見は在来のゴマダラカミキリとほとんど変わらないので、一目見て気が付くことはほとんどないでしょう。しかし、よくみると、ゴマダラカミキリには前胸背板に對の白い斑紋と羽根の根元がざらついているのに対し、ツヤハダゴマダラカミキリには斑紋がなく、そのすぐ下の羽根の付け根がツルツルしています。この昆虫は世界の侵略的外来生物ワースト100に指定されており、何種類もの広葉樹の樹種に幼虫が穿孔し、木が枯れる原因になるのです。

■数年前から園内のベニバナトチノキに虫食いの穴が空き始め、被害を確認していました。しかし当時は専門家も把握しておらず、令和4年に入り、実は外来生物のツヤハダゴマダラカミキリによるものだったと確認されました。在来のゴマダラカミキリも生息しているので、区別が付きにくいのが現状ですが、下の図のように、ごく微小な違いがあり、よくみると区別をすることができます。発見した場合は管理事務所までご連絡ください。TEL:0280-47-1129



白い斑紋
ザラザラ



斑紋なし
ツルツル

■御所沼水質調査 8/17



■今年も専門業者による御所沼の水質検査を実施しました。検査結果のデータを参考に、沼の動植物への影響を踏まえながら、水質の改善の検討と対策に活かしていきます。

■スズメバチに注意!

9月から10月にかけて働き蜂の攻撃性が非常に強くなり、巣の近くを通るだけで襲われてしまうことがあります。ご注意ください。

スズメバチの巣を発見した場合は管理棟へご連絡ください。

古河公方公園管理事務所

TEL:0280-47-1129



■ホツツケ田をカモから守れ!

■夏も終わりに近づくと、どろんこクラブで稲を育てているホツツケ田には稲穂が実り始めます。しかしその稲穂を狙う生物がいます。それがカモです。近年、ホツツケ田では、カモがお米のおいしさを憶えてしまったようで、稲穂を食べてしまうという被害が勃発。そこでここ数年は、試行錯誤して田んぼの周りをネットで囲い、カモの被害から稲を守っています。



カルガモ

■第83回古河公方公園づくり円卓会議

■8月25日(木)に、スペースU古河にて第83回古河公方公園づくり円卓会議が開催されました。円卓会議の進め方や花桃の樹勢回復について、ボランティアの話など、様々な意見が交わされました。



○引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください○

◎感染拡大防止のため、「三つの密」を徹底的に避ける、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索